

水源環境保全・再生の取組の現場訪問について

7月8日（金）の「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、水源環境保全・再生の特別の対策として進めている水源の森林づくり事業において、厚木市七沢の「七沢水源林」の取組現場を訪問し、木平東京農工大学^{このひら}名誉教授、中村丹沢自然保護協会理事長らと意見交換を行いました。

水を蓄え、「いのち」を育む緑のダムとして、整備を行っている七沢水源林を歩き、樹齢100年生以上の巨木林を目指した森林整備の内容や下層植生の回復状況を視察しました。



手入れ不足で植生が衰退した暗い森林と、間伐を行った明るい森林との比較を行い、県民の皆様においしい水を供給するうえで、重要な役割を担っている森林の働きなどの説明を受けました。



林内に光を入れるために間伐を行った結果、大小、様々な草木が生育した状況を見て、森林整備の効果を確認しました。

神奈川の水源林の公的^{このひら}管理・支援の必要性について、木平東京農工大学名誉教授と意見交換を行いました。



設置した植生保護柵の前で、柵の内外の植生の量を比較して、柵の効果を検証し、ニホンジカが植生に与える影響や、森林整備とニホンジカとの連携など、次期5か年計画の方向性について、説明を受けました。